

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成24年10月22日(月)

| | | |
|--|--------------------------|------------|
| 研究課題 | 富士北麓水資源の保全と活用のための水文科学的研究 | |
| 研究期間 | 平成25年度～27年度 | |
| | 評価項目 | 平均点 |
| | 研究の背景 | 3.4 |
| | 研究目的の妥当性 | 3.4 |
| | 研究内容の合理性・新規性 | 3.6 |
| | 研究予算の妥当性 | 3.4 |
| | 目的達成の可能性 | 3.6 |
| | 期待される研究成果 | 3.6 |
| | 予備研究の状況 | 3.4 |
| | 総合評点 | 3.5 |
| <p>富士北麓の降水は川を形成せずに地下に浸透し、貴重な資源である地下水を地域にもたらしている。富士北麓の地下水を定量的に把握した研究は殆どなく、最新の手法を用いて定量的に水収支を把握することは意義がある。環境科学研究所、衛生環境研究所、山梨大学がそれぞれの強みを生かして共同研究体制が構築されており、成果が期待されるが、既存研究や現在行なわれている「山梨県水資源保全検討委員会」の調査の成果も活用しながら研究を進める必要がある。また、成果をどのような形で保全と活用のために利用するのかを明確にしておくことも重要である。</p> | | |